

0120-31-2774 やすらぎホールみさと 仏事相談**随時**承り中
お電話頂ければ専門スタッフがご自宅へ出向いてのご相談も承ります

みどりの葬祭センター地域交流月例イベント 第7回

睡眠改善健康セミナー

すいみんカフェ

～睡眠改善のための知識と技法～



講師 長野大学
佐藤 俊彦 教授

カフェ(喫茶店)でお茶を飲んだり、くつろぎながらお友だちと雑談するように、気軽に睡眠についてみなさんと考える場です。夜間の睡眠に関する基礎知識をお話します。

就寝前のリラクゼーション技法についても練習しましょう。習ったその日から実践できます。

2018年 2月23日(金) 10:30～ やすらぎホールわくや

参加無料・要予約

予約・お問い合わせ イベント事務局 0229-33-2315

地域交流月例イベント報告

12月16日(土)にやすらぎホールわくやにおきまして『正月飾り&クリスマスリース手作り教室』が行われました。お正月用の「しめ縄作り」は講師のお二人の軽快なトークと神技級の手さばきに、参加者の皆様は興味津々。作成の時には、我も我もと講師の先生を取り合うかのようにしてご指導いただきながら縄をなっていました。「クリスマスリース作り」の時間になると、打って変わって黙々と作業に取り組み、出来上がった作品はどれも皆個性に溢れキラキラと輝いて見えました。お帰りの際には作品を見ながら御自身の感想をお話くださる笑顔が印象に残りました。



葬祭ディレクターをご存知ですか？

厚生労働省から認定を受けている「葬祭ディレクター技能審査協会」が行っている制度のことです。1級と2級があり、決められた年数の実務経験があり、葬祭業界においての一定以上の知識や技能の審査に合格した者に与えられる業界唯一の認定資格です。

試験は社会的環境、公衆衛生、法律、行政手続き、遺族心理、葬儀式場設営の基礎、宗教等の知識まで必要とされ、お客様から多方面の質問に回答できるかを問う説明実演、葬儀の司会能力、マナーなどのテストもあり、ご遺族お客様からの信頼を得て、葬祭サービスを提供できるか、適切な対応ができるかを評価するものとなっています。

『葬祭ディレクター』たること条件 「葬儀概論」一節抜粋

「遺族、参列者、宗教者の良き葬儀を実現したいという想いを汲み取り、指示あるいは同意を得て、この想いの実現に協力する者」

「葬祭業者に寄せられた社会的要請や個別の要請に充分に応える努力を怠らず、自らを律する者」

「葬儀施行という職務において、社会的要請に応えられるよう、自らの認識を高め、技能を向上させ、個々の要請においては遺族の依頼・希望に応えられるだけの力を有しかつ、依頼に応じて十分な仕事を実現できる者あるいは、そうありたいと努める者」



みどりの葬祭センターでは葬祭ディレクターの資格取得者12名を中心としたスタッフが葬儀をお手伝いさせていただきます。

生活の中の仏教語



仙台市 愚鈍院住職

浄土宗大本山

増上寺布教師

中村 瑞貴 師

「億劫(おっくう)」

仕事や勉強、家事などいつものことが面倒くさくなることはありませんか？物事をするのに気が進まず面倒くさい気持ちになることを「億劫」と言います。そんな自分になっていないでしょうか？

億劫は「おくごう」「おっごう」という読みが変化して「おっくう」となりました。「劫」という字は、落語の『寿限無』冒頭に「寿限無寿限無、五劫のすり切れ…」と出てくる、仏教で用いる時間の単位です。諸説ありますが、巨大な岩を百年に一度、薄衣で払拭し、その岩がなくなるまでの時間と言われ、とにかく非常に長い時間を表しています。その五倍、いや億倍ともなれば、気の遠くなるような時間に違いありません。

お経には「？」がつくような距離や時間などを表す単位がよく出てきます。仏教の世界には、私たちの理解の枠を超えたなんとも不可思議な世界ともいえるかもしれません。江戸時代の数学書である『塵劫記』には「不可思議」という10の64乗に相当するということとても常識では考えられない大きな数の位が記されています。これらの単位は、数の多少、時間や距離の長短を象徴的に表しているようです。

百八の煩悩を払うとして撞かれる除夜の鐘。煩悩の数を百八と具体的に示していますが、本当に煩悩の数はそれだけでしょうか。毛や爪が切っても切っても伸びるように、煩悩もまた払っても払っても、私たちの身と心に起こるものです。それこそ一生かかっても全部の煩悩を払うことはできないかもしれません。けれども仏道修行を通して、あるいは日常生活の中で、煩悩を一つずつ減していく努力を忘れてはなりません。煩悩を減することばかりでなく、何事にもコツコツと面倒くさがることなく、たとえ長い時間がかかっても取り組んでいくことが大切なのではないでしょうか。面倒だと思わず、あきらめることなく継続して物事に当たりなさい、という意味が「億劫」という言葉には逆説的に込められているように感じます。皆さんも億劫がらずに何かを始めてみてはいかがでしょうか。